

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月12日

1. 職名・氏名 教授 笠井 恭子

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 石川県立看護大学、
授与年 2017年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 看護学概論 （1単位）1年生
②内容・ねらい	ナイチンゲール看護論をとおして看護の定義、看護の役割を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら「看護とは何か」を楽しく学ぶ
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 健康生活支援演習 （1単位）1年生
②内容・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 対象理解・関係性構築のためのコミュニケーションに関する知識・技術を習得する。 地域住民の生活の様子、健康上の課題を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 模擬患者を使ったロールプレイを行い臨場感あるコミュニケーション演習を行っている。 永平寺在住高齢者とのふれ合いから、関わり方や生活の様子を学ぶ。 <p style="text-align: right;">【永平寺在住高齢者10名】</p>
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 看護理論 （2単位）1年生
②内容・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 主要な看護理論の内容および事例をとおして看護理論と看護実践のつながりを理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら楽しく看護理論を学ぶ。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅲ （1単位）2年生
②内容・ねらい	目的意識的な看護実践能力の修得を目指し診療に伴う技術を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学生の能動的な学習を促すため以下の工夫をしている。 学生によるプレゼンテーション・デモンストレーションやグループ討議を取り入れる。 演習では他学生によるチェックとフィードバックを受け、自己の改善点を見出す。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 フィジカルアセスメント （1単位）2年生
②内容・ねらい	看護過程を展開する技術を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	「基礎看護技術Ⅲ」と同じ
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 看護研究方法論 （1単位）3年生

②内容・ねらい 看護研究の必要性と主要な研究方法、看護研究の研究倫理、倫理的配慮について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 各研究方法についてはその研究方法に精通している教員が担当する。4年生の卒業研究につながるよう学生の研究疑問に基づき研究計画書を作成する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護発展セミナー （1単位）4年生
②内容・ねらい 看護実践と看護理論のつながりについて文献検討を行った上で、看護学実習で受け持った事例について看護理論を活用してまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 自己の看護実践の振り返りをとおして看護実践と看護理論のつながりを理解できるよう少人数のゼミ形式ですすめる。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究 （3単位）4年生
②内容・ねらい 自己の研究課題に対して研究計画書を作成する。
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学演習 （2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 研究計画書を作成する。
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 院生の研究課題を明確化し適切な研究方法を導くよう個別指導を実施する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学特別研究 （10単位）大学院2年生
②内容・ねらい 修士論文を作成し発表する。
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 研究の成果を修士論文としてまとめ発表できるよう個別指導を実施する。
(2)その他の教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学方法論Ⅶ(看護と研究)（6時間）福井県立看護専門学校非常勤講師 ・地域在住高齢者との交流 地域で普通に暮らす高齢者の生活の様子を知り健康上の課題について考えることを目的に永平寺町在住高齢者10名に来学してもらい看護学科1年生と交流する機会をつくっている（「健康生活支援演習」の授業の一部）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0本】
②学術論文（査読あり）	【0本】
③その他論文（査読なし）	【0本】
④学会発表等	【0件】
⑤その他の公表実績	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】	
1. 科学研究費基盤研究（C）（一般） 長期寝たきり高齢者の自律神経活動を整えるケアの開発－爪もみに焦点をあてて－ 研究代表者、2019～2021年度（2023年度まで延長）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・第27回日本老年看護学会学術集会 企画委員 ・教育セミナー「高齢者がより良く眠るための睡眠ケアをデザインする」座長、第27回日本老年看護学会学術集会、2022年6月25～26日、石川県立看護大学 ・本学・越前市・NTT西日本3者情報通信技術（ICT）を活用した健康増進に関する連携協定締結プロジェクトメンバー（2022年9月～）	

5. 地域・社会貢献活動

<ul style="list-style-type: none">・近畿地方社会保険医療協議会委員（医院・薬局開設等の審査、2022年10月～現在に至る）・福井県済生会支部理事（施設整備計画・予算・規程改定等の審議、2022年4月～現在に至る）・福井県衛生環境研究センター・健康福祉センター倫理審査委員会委員（研究計画の倫理審査、2014年～現在に至る）・福井県看護協会倫理委員会委員長（研究計画の倫理審査、2021年～現在に至る）・福井県看護協会認定看護管理者教育運営委員会委員（認定看護管理者研修生の評価、2022年4月～現在に至る）・福井県健康づくり推進協議会委員（健康づくり施策等の協議、2022年4月～現在に至る）・福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会講師（看護協会における実習指導者を対象とした講習会で看護理論と看護過程を担当、2008年～現在に至る）・福井県立病院看護研究研修講師（看護師が実施する研究計画の助言、2022年4月～現在に至る）・第27回日本老年看護学会学術集会企画委員（2022年6月金沢で開催される当学会のプログラム企画、2021年～2022年7月）・令和4年度探究学習講師（高校生が行う探究活動の計画や成果へのアドバイス、勝山高校2022年8月23日、大野高校2023年1月24日）・公開講座「リラクゼーション講座～自律神経を整えるレッスン～」（本学にて対面で開催、2022年12月3日）

6. 大学運営への参画

(1)補職
<ul style="list-style-type: none">・看護学科長（2021年4月～現在に至る）
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
<ul style="list-style-type: none">・オンデマンドオープンキャンパス担当（2022年7月～）・ZOOMオープンキャンパス担当（2022年8月21日）・対面オープンキャンパス担当（2022年8月7日）・三国高校入試説明会（2022年9月12日）
(4)その他、自発的活動など